



学校だより

さしきっこ

第3号

学校教育目標 「ともに のびる さしきっこ」 ささえあい しんじてはばたく きらめくみらいへ

今年度より新しい教育目標に！

今年度から、学校教育目標を変えました。昨年度から、職員だけでなく PTA や学校運営委員会等に提案をし、議論をしてきました。それを経ての変更となります。

学校教育目標を **ともに のびる さしきっこ** と設定しました。

佐敷小学校のめざす子どもの姿として **ささえあい しんじてはばたく きらめくみらいへ** としました。

変更をする大きな理由は、①現在、国が目指す人間づくりやこれからの人材に必要な資質能力に合わせたものにしてほしい。②教育目標が「絵に描いた餅」ではなく、教師だけでなく子ども達や保護者、地域の方々など誰でも言えるような教育目標にしたいという2点からです。

昨年度までの教育目標も、教育の普遍性をふまえたものであり、「知徳体」の三本柱となっていました。

その良さとして、①「知・徳・体」のバランスがとれたものであり教育の不易なものであること、②佐敷の「さしき」として、文言が考えられ、地域に根ざす考え方であること、③子どもの実態から、育てたい子ども像が明確化されていること、があげられます。

【昨年度までの学校教育目標】

- ◇ **さ**いごまであきらめずがんばるたくましい子
- ◇ **し**ょうらいの夢にむかって進んで学習する子
- ◇ **き**ょうりよくし、心やさしく思いやりのある子

その反面、①これからの教育は、「知・徳・体」を分け隔てなく、知識や技能、思考力・判断力・表現力、そして主体的な学習態度や人間性をバランスよく総合的な資質を身につけ、それらを統合して活用できる能力を目指していくこと、②教育目標が長いため、職員のみならず子どもが覚えることができないこと、の欠点があります。そこで、上述したように2点の変更理由をもとに変更を致しました。

今年度からの学校教育目標は、「知徳体」とわけずに、「ともに のびる さしきっこ」と一文にしました。新教育目標にこめた願いとして、右図のように、短い言葉の中に、協働性や主体性、地域にこだわるなど多くの願いをこめています。

【新学校教育目標にこめた願い】

と も に

の び る

さ し き っ こ

子ども 地域にこだわる

主体性 自立 夢 希望

協働性 自他の尊重 関係性 互いのよさ

「めざす子どもの姿」は、昨年度までの学校教育目標に敬意を表して、「さしき」にこだわり子どもの姿を設定しました。「ささえあう子」：子ども同士が対話を通して、関係性を大切に、互いのよさを認め合い協働的に学び・遊び・かかわることができる。「しんじてはばたく子」：健康で根気よく、主体性を発揮して、自立・自律して自分の信じた道を歩むことができる。「きらめくみらいへ」あゆむ子：自分の夢や希望を持ち、自己肯定感をもって進むことができる。具体的には、このような子どもの姿をめざしていきます。

【子どもの姿】

- さ**さえあい【協働性、関係性、対話、互いのよさ】
- し**んじてはばたく【主体性、自立、根気、健康】
- き**らめくみらいへ【夢や希望、自己有用感】

最後に、本校の「めざす資質・能力」を右に示す3点としました。新教育目標を受けて、本校児童に身につけていきたい資質・能力となります。「ともに のびる さしきっこ」、この学校教育目標が保護者や地域の方々に親しまれ、みんなが言えるよう願っています。

【めざす資質・能力】

- 自他を尊重し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的・協働的に学び、生きて働く知識・技能の習得
- 学びを自分の夢や社会に生かそうとする力、人間性等の涵養